2013 年度 小委員会活動成果報告

（2014 年 2 月 14 日作成）

小委員会名	建築情報教育小委員会	**主 査 名**：村上祐治 **就任年月**：2013 年 4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	情報システム技術委員会	**委員長名**：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 （箇条書き）	・3 次元設計教育に関する活動事例を調査するともに、建築情報教育全般に関わる国内外の大学等における先駆的な事例を調査する。 ・設計事務所等の設計現場における建築情報教育に対する期待や要望等を調査する。 ・活動事例の調査および整理を通して得られる「情報技術を活用した創造的な建築設計プロセスやそのマネジメント技術」を教育の中で活かすための方法を検討・提案する。 **初年度**：先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 研究集会の開催 **２年度**：先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 教育手法開発のための検討 研究集会の開催 研究活動成果のとりまとめ	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：有	
	主査：村上祐治（東海大学） 幹事：下川 雄一（金沢工業大学） 委員：大西康伸（熊本大学）、川角典弘（和歌山大学）、木村謙（エーアンドエー）、竹中司（アンズスタジオ）、中田千彦（宮城大学）、中澤公伯（日本大学）、福田知弘（大阪大学）、前稔文（大分工業高等専門学校）、松島史朗（豊橋技術科学大学）、松本裕司（京都工芸繊維大学）	
設置 WG（WG 名：目的）		
2013 年度予算	290,000 円	**ホームページ公開の有無**：無 **委員会 HP アドレス**：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー等） ＊能力開発支援事業委員会承認企画	１．第36回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画研究集会①「建築情報教育のニーズとシーズ －いま、情報技術に期待すること－」 参加者数 28 名 『第36回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	当初の各活動計画に対して、それぞれ以下のような達成度であることから、全体としての目標の達成度は 90%程度と考えられる。 １．先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 80% 現場における３次元設計教育のヒアリングを実施し、技術活用に関する知見を得ることができたが、系統的な調査という点では不十分な点もある ２．研究集会の開催 100% 情報・システム・利用・技術シンポジウムにて、研究集会を開催
委員会活動の問題点・課題	１．委員が地方に分散しているため、委員会を多く開催することができない。そのため、活動が活発になりにくい。 ２．メールでの議論が続きにくい。
その他	